



人間牧場主・年輪塾々長
若松 進一

ことばがつなが まちづくり

もう二十四年近くも前、東京でまちづくりのシンポジウムがありました。夕日をテーマにまちづくりに熱中していた私は壇上で、「日本の夕日」への想いを巡らせて熱弁をふるいましたが、そのパネリストの中に、福井県丸岡町の大廻さんがいました。彼は日本一古い天守閣丸岡城のある町と、城主だった徳川家康の家臣本多作左衛門重次について熱っぽく語りました。そして丸岡城に日本一短い手紙文があることを全国に知ってもらうため、「日本一短い『母』への手紙」という、今までのまちづくりジャンルにはない、珍しくて新しい文化事業を紹介しました。それは活字やメールでは伝わらない本物の手紙文化の復権を目指すという、全国初の手紙コンクールでした。コ

ンクールはうわさがうわさを呼ぶ凄惨な反響で、三万二百通を超える応募があり、大廻さんたちの目論見どおり丸岡町の名を全国に知らしめたのです。以来丸岡町は「一筆啓上賞」として毎回テーマを変えます、二十四回の今日まで公募を続けていますが、これまでに百万通を超える手紙が集まったそうです。

その発端となった現存する古い手紙は、織田信長と徳川家康の連合軍が武田軍を打ち破ったことで有名な長篠の戦に参戦していた重次が、陣中より妻宛てに書き送ったもので、「一筆啓上火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」は、余計なことには触れず、しかも留守を守る妻を敬いながら、「留守中は火事に気を付け、仙千代という息子の面倒を見て、大事なものや貴重品(馬)を大切にするように」との家族を思う重次の暖かい心情が読み取れるのです。

丸岡町の日本一短い手紙がきっかけに、全国の市町村では「言葉がつながまちづくり」への取り組みが相次ぎ、近代俳句の祖正岡子規や高浜虚子など多くの文人や俳人を輩出するとともに、夏目漱石の「坊ちゃん」や司馬遼太郎の「坂の上の雲」など、小説の舞台になった松

山市でも、ことばの力でまちづくりを進めています。文学と深いつながりのある松山市にとって、ことばは先人から受け継いできた大切な財産です。松山ではこうした文化的土壌を活かしながら、あえて形のないことばにこだわりをもった、様々な文化イベントを実施することによって町の活性化を図り、全国へ情報発信しています。

この街で

この街で生まれ この街で育ち

この街で出会いました あなたとこの街で

この街で恋し この街で結ばれ

この街でお母さんになりましたこの街で

あなたのすぐそばにいつも私

わたしのすぐそばにいつもあなた

この街でいつかおばあちゃんになりたい

おじいちゃんになったあなたと歩いて

ゆきたい

(後略)

この曲は元々2000年10月に松山市で開催された「21世紀に残したいことば・あなたのことばで元気になれる『だからことば大募集』」で、松山市長賞を受賞した「恋し、結婚し、母になったこの街で、おばあちゃんになりたい！」をモチーフに、2005年に制作発表さ

れた新井満さん作詞作曲の楽曲ですが、この詩を読む度に、またこの歌を聞く度に、瀬戸内に面した穏やかな気候風土に恵まれた松山市が、住みたい街のランキング上位に毎年選ばれる意味が分かるような気がするのです。

ことばは音楽によって、様々なイメージを膨らませます。2012年3月11日に発生し、大地震や大津波で未曾有の被害の出た東日本大震災後、被災した東北地方太平洋地域の被災地を再建するチャリティソングとして作られた岩井俊二さん作詞、菅野よう子さん作曲の「花は咲く」も、忘れ得ぬ名詞名曲となりました。

花は咲く

(前略)

花は花は花は咲く

いつか生まれる君に

花は花は花は咲く

わたしは何を残しただろう

(後略)

私もことばの魅力に取りつかれた一人です。私たちがまちづくりに夢中になってきた平成の初期頃、まちのキャッチフレーズが流行しました。わが双海町も全国公募し2661件の中から「しずむ夕

日が立ちどまるまち」を選びました。裏話ですがこのフレーズに地元から様々な反対意見が出ました。しずむ＝マイナスイメージ。



キャッチフレーズ「しずむ夕日が立ちどまる町」

俳句王国愛媛ゆえに5・7・7・5ではなく7・7調は覚えられにくい、しずむ夕日がなぜ立ち止まるのか?、国語的にはおかしいなどの異論でした。でも7・7調が若者に相応しく、またフレーズが日本一と自認する夕日の町に相応しいとの町外審査員の強いコンセプトワークに押されて採用しました。結果は大好評で、合併して双海町という自治体は地図上から消えましたが、今もこのキャッチフレーズは色あせることなく町民に愛され使われ続けているのです。

当時「夕日への手紙」という新しい事業をゼロ予算で始めました。新しくできたシーサイド公園に私たちが作った白いポストを置き、夕日に対する想いを書いてポストに投函してもらおうというもの

でした。夕日のミュージアムで夕焼け放送局も開設し、投函された手紙を紹介したり展示もして、ことばがつかぬまちづくりを行い情報発信しましたが、合併で中止となったことは返す返すも残念です。心は見えないが心遣いは見え、思いは見えないが思いやりは見えます。ことばも見えないが言葉は人の心を動かせる不思議な力を持っています。



双海シーサイド公園にはあちらこちらに「言葉」がある

「見えないが 言葉は人の 心まで 動かす力 持っているんだ」
「この街で『花は咲く』など 聞く度に 何か心に パワーみなぎる」
「フレーズの 短い言葉に 曲をつけ 口ずさみつつ 思い巡らす」
「見えないが 心と思い ことばなど 表現すれば 見える変身」
(若松進一の実験映画)